

学力向上通信

ワン ツー スリー

北小わかるステップ1・2・3

羽生北小学校 令和2年2月26日発行

国語力を高めるためには…

2月も終わり、本年度も残りがわずかとなってきました。12月に行われた各学年の総合学力調査も返却され、つまづきが見られたところを中心にこれからも復習を行っていきます。

それとあわせて、ご家庭でも、お子さんの得意な部分や苦手な部分を確認し、今の学年で身に付けるべき力をしっかりと身に付けて進級できるようにしていただけたらと思います。

今回は、「国語力」を高めるための本校での取組を、いくつか紹介します。



音読・素読

どの学年も、朝の活動又は国語の時間で素読を行っています。また、ご家庭で毎日音読に取り組んでいると思います。

初めて読んだ時はたどたどしい文章も、繰り返し読むことでスムーズに読めるようになり、さらには自分の中に読んでいる言葉が定着します。このことで「語彙力」が高まります。

内容としては難しいものも、繰り返し読むことで音に慣れ、すらすら読めるようになってきています。語句の意味を追求するのではなく、言葉のもつ美しい響きやリズムを体感し、脳の前頭前野を活性化させることが期待できます。

ご家庭の音読も、毎日のことで大変だと思いますが、この積み重ねをきちんとすることで、文字に対する抵抗感がなくなり、「文章を読み取る力」や「語彙力」が高まることを期待できます。ご協力をよろしくお願いいたします。

音読では、各学年カード等を使用し取り組んでいます。下記のようなことは学年を問わず意識して取り組みましょう。

- 姿勢を正して読む。
- 教科書をもって読む。
- 読点(、)や句点(。)を意識し、区切って読む。
- 物語文の「 」の部分は、登場人物の気持ちによって読み方を変える。



スピーチ



国語だけでなく多くの教科や朝・帰りの活動では、みんなの前で発表やスピーチをする機会を設けています。これは、相手に分かりやすく説明することが大切で、発表する内容の順序や適切な言葉を選ぶ等、「文章を書く力」や「語彙力」が大切です。

発表の機会を多く設けること、自分と相手の考えの共通点や相違点を考えながら聞くことで、「話す力・聞く力」が高まることを期待できます。



読書



学校では、ブックタイムや読み聞かせ、国語の時間で教科書以外の本に触れる時間を設けています。今年度は読書祭りを年3回に増やしたり、ハートフルデーを設定したりする等、ご家庭でも本に触れる機会が増えたと思います。本をたくさん読むことで「文章を読み取る力」や「語彙力」が高まることを期待できます。

また、本は心の栄養です。情緒面にもよい影響を与えます。引き続きご家庭でもいろいろな本に触れあえるよう声かけをしたり、一緒に読んでみたりしてください。

【現在の図書室の本の貸し出し冊数(2/20現在)】 ⇒ 6127冊

昨年度より1.4倍UP↑



作文・日記

学校では、行事の終わりや国語の学習で、1年生からたくさんの文章を書きます。その際、発達段階に応じて、特に意識して書くようにしています。

○全学年共通

・学習したカタカナ、漢字を使って書く。 ・読む人の事を考えて、丁寧に書く。

○低学年

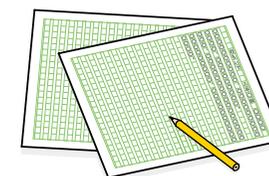
・「は」「へ」「を」を正しく使って書く。 ・会話文を「 」。を使って書く。
・拗音(「きゃ」等)、促音(「っ」といったつまる音)を正しく書く。
・読点(、)句点(。)を正しく使って書く。

○中学年

・接続詞(はじめに、つぎに、なぜかという、このように 等)を使って書く。
・段落(はじめ、中、おわり の3段落等)に分けて書く。
・自分が書いた文章を推敲する。

○高学年

・文章構成による効果を考えながら書く。
・目的や意図に応じて簡単に書きたい詳しく書きたいする。
・事実と意見、感想を区別して書く。 ・決められた文字数に合わせて書く。



マイマイ学習で、日記を書く取組も推奨していますが、書くときは自分の学年で意識すべき点を念頭に置いて書くとさらに力を伸ばすことができます。素読や音読と同じように、繰り返し書くことで書くことに対する抵抗感がなくなり、「文章を書く力」が高まることを期待できます。

また、音読・素読や読書によって高めた「語彙力」を活用する場が作文や日記です。覚えた語彙を積極的に活用することで、読み手が分かりやすく、読みやすい文章を書くことができます。